

レファレンスだより 2017年4月号 No.173

福岡市総合図書館 図書サービス課 相談係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンス・サービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報誌です。

■レファレンス受付件数 (2017年1月分)

参考	人文	社会	自然	郷土
35	1479	460	394	480
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
501	43	682	1269	5343

(開館日 22日 一日平均 242件)



今月の特集!

図書館に行こう

新年度がスタートしました。

まずは近くの図書館に出かけませんか? 新しい発見があるかもしれませんよ!

図書館いろいろ

『情報便利屋の日記：専門図書館への誘い』

村橋 勝子／著 樹村房 2016年

『マイクロ・ライブラリー：

人とまちをつなぐ小さな図書館』

学芸出版社 2015年

『世界の不思議な図書館』

アレックス・ジョンソン／著 北川 玲／訳

創元社 2016年

図書館にもドラマが…

『図書館ねこベイカー&テイラー：

小さな町に奇跡を起こした2匹の物語』

ジャン・ラウチ、ライザ・ログック／著

早川書房 2016年

『戦地の図書館：海を越えた一億四千万冊』

モリー・グプティル・マニング／著

東京創元社 2016年

『古書泥棒という職業の男たち：

20世紀最大の稀覯本盗難事件』

トラヴィス・マクデード／著 原書房 2016年

『疎開した四〇万冊の図書』

金高 謙二／著 幻戯書房 2013年

図書館を使い倒す

『図書館「超」活用術 最高の「知的空間」で、
本物の思考力を身につける』

奥野 宣之／著 朝日新聞出版 2016年

『図書館徹底活用術：ネットではできない！

信頼される「調べる力」が身につく』

寺尾 隆／監修 洋泉社 2017年

『認知症予防におすすめ図書館利用術：

フレッシュ脳の保ち方』

結城 俊也／著 日外アソシエーツ 2017年

地域づくりにも一役買ってます

『地方自治と図書館：

「知の地域づくり」を地域再生の切り札に』

片山 善博、糸賀 雅児／著

勁草書房 2016年

『「本の寺子屋」が地方を創る

塩尻市立図書館の挑戦』

「信州しおじり本の寺子屋」研究会／著

東洋出版 2016年

『ささえあう図書館：

「社会装置」としての新たなモデルと役割』

青柳 英治／編著 勉誠出版 2016年



こんな質問がありました！

Q：「荒城の月」のモデルはどこ城か？

(人文科学)

■参考資料

『福島大百科事典』（福島民報社福島大百科事典発行本部／編集 福島民報社 1980年）

2階 C12 R291.26/7

「この題を与えられたとき、第一に晩翠の頭に浮かんだのは会津若松の鶴ヶ城であった。」「廉太郎は1900年（明治33）郷里、大分県竹田の岡城址の印象をもとにして完成した。」とある。

■所蔵資料

『明治音楽史考』（遠藤 宏／著 有朋堂 1948年）閉架書庫 762.1/1

「二、滝廉太郎とその頃」に「『荒城の月』は（中略）彼の作曲が当選したのである。思い出深い竹田の岡城址を偲びながら、彼は作曲したに相違ない。（中略）歌詞は若松城址を歌ったものだといふ。」とある。

『荒城の月 土井晩翠と滝廉太郎』（山田 野理夫／著 恒文社 1987年）閉架書庫 913.6/4

晩翠の回想文の中に「この題を与えられて、まず第一に思い出したのは会津若松の鶴ヶ城であった。」との記述がある。

『子どもの歌を語る 唱歌と童謡』（山住 正己／著 岩波書店 1994年）2階 B18 767.7/4

「滝廉太郎の仕事」の中に、「滝廉太郎が『荒城の月』の曲をつくるときに繰り返し思い浮かべたにちがいない岡城」との記述あり。

『岡藩：「荒城の月」旋律と京風町並み』（村上 貞徳／著 現代書館 2011年）1階* 69 219.5/4

『史料館研究紀要 第11号』（大分県立先哲史料館／編 大分県立先哲史料館 2006年）

行政資料 G100/Y85/H18

「滝廉太郎と大分」の中に「岡城を廉太郎の名曲『荒城の月』のモデルだと認め、」との記述あり。

Q：化粧の始まりについて知りたい

(社会科学)

■日本での化粧の始まりについて記載のある資料

『講座日本風俗史4』（雄山閣出版 1959年）2階 D18 382.1/3

「化粧の変遷」という論文がある。

『化粧にみる日本文化：だれのためによそおうのか?』（平松 隆円／著 水曜社 2009年）1階* 66 383.5/1

「化粧の変遷—その動態的理解」という章がある。

『美人進化論：顔の文化誌』（村沢 博人／著 東京書籍 1987年）閉架書庫 383/4

「紅と白粉のはじまり」という章がある。

■世界での化粧の始まりについて記載のある資料

『化粧せずには生きられない人間の歴史』（石田 かおり／著 講談社 2000年）閉架書庫 383.5/1

「化粧の始まり」という項目がある。

『メイクアップの歴史 西洋化粧文化の流れ』

(リチャード・コーソン／著 ポーラ文化研究所 1982年) 2階 D19 383.5/3

時代や地域別に、化粧についての説明がある。

『化粧品事典』（日本化粧品技術者会／編 丸善 2003年）2階 E4 R576.7/4

「化粧の起源」としてまとめてあり、時代ごとにもまとめてある。

■レファレンス協同データベースに類似の質問があり、その参考資料から

『おしゃれの哲学』（石田 かおり／著 理想社 1995年）閉架書庫 383.5/1

第1章第3節の後の雑学が「白化粧の起源」となっている。

■インターネットから

「ポーラ文化研究所」ホームページに「やさしい化粧文化史—入門編—」という連載がある。その第1回目が「化粧のはじまり」となっており、写真付きでわかりやすい解説がある。その参考文献から、

『日本の化粧 道具と心模様』（ポーラ文化研究所／編著 ポーラ文化研究所 1989年）閉架書庫 383/ニ
「紅化粧の歴史」や「白粉化粧の歴史」という章がある

『化粧ものがたり 赤・白・黒の世界』（高橋 雅夫／著 雄山閣出版 1997年）2階D19 383.5/㌸
赤・白・黒の色別に、化粧の歴史などがある。

『化粧史文献資料年表 化粧文化シリーズ』（村沢 博人・津田 紀代／編集 ポーラ文化研究所 2001年）
2階D7 R383.5/㌸

文献資料より抽出した化粧史関連事項を抜き出して年代順に並べてあり、その下段には註解もある。

Q：天気を操作する技術について書かれた本はあるか

(自然科学)

■所蔵の本を検索

『気象を操作したいと願った人間の歴史』

(ジェイムズ・ロジャー・フレミング／著 紀伊國屋書店 2012年) 2階E7 451.02/7

雨を降らす、霧を消す…など、気象を操作しようとした多くの事例が歴史的に記述されている。現代では地球温暖化問題解決のための天候操作も提唱されており、その方策の問題点も挙げている。

『人工降雨 渇水対策から水資源まで』（真木 太一・鈴木 義則／編 技報堂出版 2012年）

2階E7 451.64/ジ

人工降雨の歴史、種類、方法、課題などが詳しく記載されている。

『水惑星の旅』（椎名 誠／著 新潮社 2011年）1階ポ61 517/㌸

最終章に「人工降雨の可能性」という項目がある。



■雑誌記事を検索

『日経サイエンス 2014年9月号』（日経サイエンス社）閉架書庫

「現代の雨乞い 人工降雨」という記事があり、実践現場を訪ねてのリポートがある。

『Newsweek(ニューズウィーク) 2009年7月15日号』（CCCメディアハウス）閉架書庫

特集で「トンデモ科学が地球を救う？人工火山灰で太陽光を遮断、CO₂を回収して埋蔵 巨大スケールの地球工学は温暖化対策の切り札になるか」という記事がある。

Q：ヒューゴー賞を受賞した中国人作家と作品名、所蔵状況を教えてください。

(国際)

◆ヒューゴー賞について

「1953年に受賞を開始したSF・ファンタジー分野の賞で、前年に発表された作品・業績に対して贈られる。「サイエンス・フィクション」の名付け親であり、世界で初めてSF雑誌を創刊したアメリカのSF作家・編集者のヒューゴー・ガーンズバック(Hugo Gernsback 1884-1967)の名にちなむ。(中略)主催者は世界SF協会。(後略)」

『海外文学賞事典』（日外アソシエーツ／編 日外アソシエーツ 2016年）2階C13 902.05/㌸

『世界のSF文学増補版：総解説』（自由民国社 1992年）2階C13 903.1/㌸

ヒューゴー賞公式サイト(英文) <http://www.thehugoawards.org/>

◆報道記事

・人民網(日本語版) 2015年8月23日 <http://j.people.com.cn/n/2015/0825/c206603-8941201.html>

◇第73回ヒューゴー賞(2015年) 劉慈欣『三体』が初の中国人作家として最優秀長編小説賞受賞。

『三体』(劉慈欣／著 重慶出版社 2008年) 2階A17 F102CHI/923.7/LI

『The three-body problem』(Gixin Liu／著 Ken Liu／訳 Head of Zeus 2016年)

2階A22 F804ENG/923.7/LI

・人民日報 2016年8月23日 24面

◇第74回ヒューゴー賞(2016年) 郝景芳『北京折叠』が中短編小説賞を受賞。

『孤独深处』(郝 景芳／著 江苏鳳凰文艺出版社 2016年) 2階A17 F102CHI/923.7/HA

上記作品に『北京折叠』所収。

※「2階C1」などと表記しているものは総合図書館の棚番号です。また、「813.1」などと表記しているものは分類番号で、数字の左にRが付いている資料、郷土資料は貸出ができませんので、館内でご利用ください。本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『現代感動詞用法辞典』

(浅田 秀子／著 東京堂出版 2017年) 2階B1 R815.6/7

普段何気なく使っている「感動詞」の様々な用法について解説した、今までにない一冊です。表す意味による声調の違いが独自の「三線譜」を用いて示されているほか、巻末の索引では意味やニュアンスの区分からも語を探することができます。

はしがきで語られている通り、著者の「日本人の文化を海外へ発信する」という熱意が結実した、読んで楽しい辞典です。

使ってみました ⇒ 「おい」と「おーい」の違いは？

「おい」は「近くの相手に呼びかける声」、「おーい」は「遠くの相手に呼びかける声」と区別されています。また、いずれも呼びかけだけでなく、「慨嘆などの気持ち」を表す「ややマイナスイメージの語」としての用法も示されています。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号	タイトルコード
人文	絨毯が結ぶ世界 ：京都祇園祭インド絨毯への道	鎌田 由美子／著	名古屋大学 出版会	753.3/カ	1000001546139
	手話を言語と言うのなら	森 壮也／編 佐々木 倫子／編	ひつじ書房	801.9/シ	1000001543534
社会	旅行のモダニズム ：大正昭和前期の社会文化変動	赤井 正二／著	ナカニシヤ出版	384.37/7	1000001543465
	同性パートナーシップ制度：世界の動 向・日本の自治体における導入の実際と展望	棚村 政行／編著 中川 重徳／編著	日本加除出版	367.9/ト	1000001543281
自然	貝と文明：螺旋の科学、新薬開発から 足糸で織った絹の話まで	ヘレン・スケール ズ／著	築地書館	484/ス	1000001539398
	日本ゲーム産業史 ：ゲームソフトの巨人たち	日経 BP 社ゲーム 産業取材班／著	日経 BP 社	589.7/= /	1000001547477



今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内～

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》 **文学の賞**

《社会科学》 **線路はつづく
～ 鉄道特集 ～**

《自然科学》 **自然災害**

《国際》 **Welcome to Japan!**